

# いりょうのひろば

VOL.174  
2020.August

愛仁会 千船病院

大阪市西淀川区福町3-2-39 TEL.06-6471-9541

千船病院附属 千船クリニック

大阪市西淀川区佃3-1-11 TEL.06-6471-9549

愛仁会地域ケアセンター

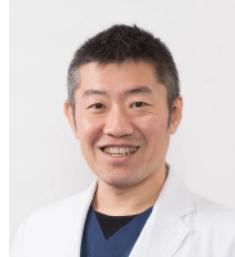
大阪市西淀川区佃2-2-46 TEL.06-6476-3965

## 婦人科の大木 規義医師が Best Doctors 2020-2021 に選出されました

産婦人科の大木 規義 婦人科主任部長が、医師同士の評価によって決められる、「医師が選ぶ名医」 "The Best Doctors in Japan 2020-2021" に、ベストドクターズ社から選出されました。前回の "The Best Doctors in Japan 2018-2019" の受賞に引き続き、2期4年連続の受賞となります。

### ■受賞コメント

千船病院、産婦人科の大木規義と申します。私の専門領域は良性・悪性を問わず、婦人科腫瘍です。特に腹腔鏡下手術、ロボット手術 (da Vinci 手術)、開腹手術など手術療法を得意としています。千船病院は、関西有数の腹腔鏡下手術、ロボット手術 (da Vinci) センターです。産婦人科では年間1000件以上の手術を行い、うち約400件以上の内視鏡手術が占めています。最先端手術ロボット「ダヴィンチ Xi」も導入されているため、当院では腹腔鏡、ロボット、開腹術の中から、皆様一人一人に合わせた、最適な術式とアプローチ法が選択可能です。また、かかりつけの開業医の先生方とも密に連携を構築しており、安心のサポート体制を実現しています。婦人科領域に関して何か心配事がありましたら遠慮なくご相談ください。



千船病院 産婦人科主任部長 大木 規義



## 専門看護師・認定看護師に聞く「急性期治療と今後の回復への援助」

救急看護認定看護師 高西 弘美

千船病院のICU（集中治療室）は、24時間体制で様々な診療科の手術後の患者さまや重症患者さまを受け入れており、年間約600名の患者さまが入室されています。「集中治療室」と言えば、身体中にモニターを装着し、たくさんの医療機器に囲まれて治療を行っている所というイメージを持たれている方も多いのではないでしょうか。

ICUでの治療を必要とする患者さまは身体的苦痛だけでなく、突然の発症、医療機器に囲まれた環境、学校や仕事を休まなければならないといった精神的・環境的・社会的不安を持つ患者さまも多くいらっしゃいます。

その為、私達ICUの看護師は急性期の治療だけでなく、患者さまの今後の生活を見据えた回復への援助をさせていただくとともに、検査や治療を行う上で、できる限り患者さまとご家族さまの思いや希望に寄り添い、安心して治療に専念していただけるよう多職種で連携してサポートしています。



検査や治療のことだけでなく、少しでも不安に思われるがあれば、いつでも看護師にご相談下さい。

寄贈いただきました。

温かいご支援ありがとうございます。多くの方々よりマスク、消毒用エタノール、フェイスシールド等の医療物資を寄贈いただきました。職員一同、心より感謝申し上げます。寄贈いただいた医療物資については、大切に使用させていただきます。

\* 寄贈元（一例を掲載させていただきます）

一般社団法人 西淀川医師会、大阪府産婦人科医会、北野クリニック、希咲クリニック、株式会社エーディエフ 等

# リードレスペースメーカーについて

世界最小のペースメーカーである『リードレスペースメーカー（マイクラ<sup>®</sup>）』が千船病院でも植込み可能となりました。このペースメーカーはこれまでのリードのあるペースメーカーとは全く異なる“カプセル型”のペースメーカーです。

## ■ 従来型のペースメーカーとは

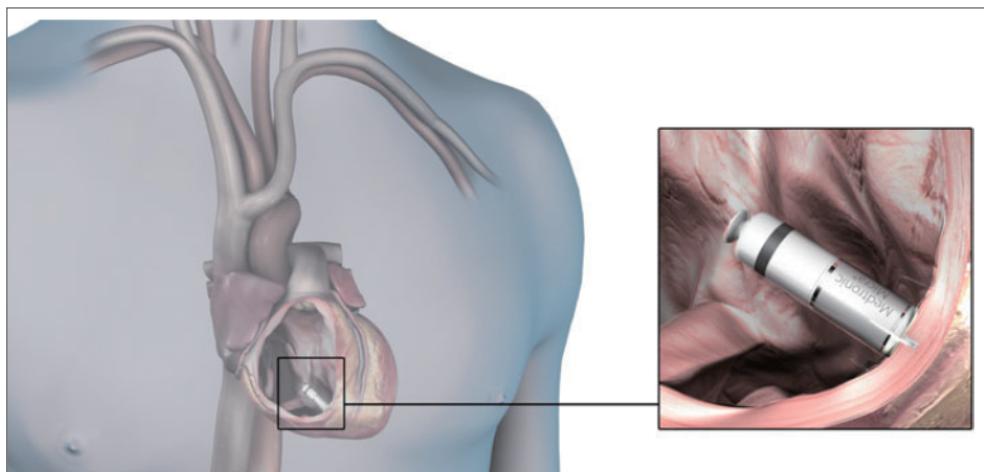
従来のペースメーカーは、鎖骨下静脈という血管内にペーシングリードという電線を挿入し、その先端を右心室へ固定して反対側の電極にペースメーカー本体を接続、鎖骨下の皮膚の下にポケットを作成して本体を固定するものでした。

通常のペースメーカーはリードがありますので、リードの老朽化や断線、血管閉塞などの問題がありました。さらに、皮下のポケットにあるペースメーカーの電池本体が皮膚を圧迫してポケット部皮膚の壊死の原因になったり、そこまでいかなくとも痩せてくるとペースメーカー電池がくっきり浮き出たりして、美容上もあまり良くありませんでした。ペースメーカーの感染は大きな問題で、システム全抜去が必要となり、開胸手術やレーザーを用いた手術が必要で危険を伴いました。

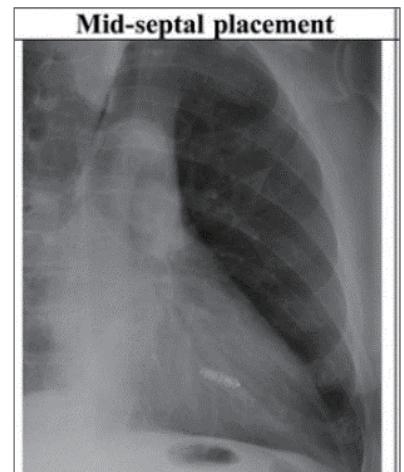
## ■ リードレスペースメーカー→従来のペースメーカーの弱点を克服

本体はカプセル型、1.75g、1ccまで小型軽量化されています。専用のカテーテルシステムを用いてカプセル先端に付いている4本の小さなフックで右心室の心筋壁に引っ掛けて植え込みます（図1）。植え込んだ後にカテーテルシステムは抜いてしまいますので、カプセルのみが心臓の中に残って、心臓を刺激する仕組みになっています。

従来のペースメーカーのように外から体を見ただけではペースメーカーが入っていることは全く分かりませんが、レントゲン写真を撮るとはっきり写っています（図2）。



（図1）植え込まれたリードレスペースメーカー



（図2）植え込み後の  
レントゲン写真

電池寿命は10年程度、条件付きでMRIの撮影も可能です。皮下ポケットやリードによる生活制限がありませんので、患者さまもペースメーカーを意識せずに生活することができ、身体的・精神的な負担が大きく軽減されることが期待できます。

## ■ リードレスペースメーカーの今後

現時点ではリードレスペースメーカーは心室しかペーシングすることができないため植込みの対象となる患者さまは限られていますが、今後改良が進めばより多くの患者さまがこのペースメーカーの対象になると思います。

今後も患者さまに安心感を与え、生活の質が向上するような治療を目指していきます。



千船病院 循環器内科  
部長 足立和正

# 未来をつなぐ、インターネットを用いた ICT 地域連携

## 放っておらずに早期の受診を 整形外科医が勧める関節痛治療

あるアンケート調査では、「関節痛のある方の中で、病院にかかっている人は、4人に1人しかいない」という結果でした。こういった関節痛を感じる原因となる病気を持つ高齢者の方が年々増えています。全体の人口が減っている中、高齢者の割合は増えていき 10 年後には 30% を超え、高齢化はさらに進んでいくと言われています。

しかしながら、そういった関節の病気を持つ高齢者の方が自治体・行政から手厚い介護を受けられているかと言うと、実際は受けられていないのが実状です。

認知症や内科の病気がある場合は要介護の認定を比較的受けられますが、足腰がわるいというだけでは要介護認定がなかなか受けられない現状があります。

これらのことから、今後、手厚い介護が受けられない高齢者の単独世帯が増えしていくことが危惧されています。大阪西部地域（西淀川区）も例外ではなく、足腰のわるい高齢者の方が介護の力を借りられずとも元気に歩き続けて頂ける様に尽力することが我々の使命のひとつと考えています。

「足腰がわるくても命に関わることじゃないから放っておく」と考えてしまう高齢者の方々に向けて、関節の病気の疑いがあれば早い段階で整形外科への受診を促す仕組みや、他診療科からの紹介や相談ができるネットワークの構築による「地域医療連携」の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

## ICT を活用し連携医療機関からのご相談やご紹介をお受けしています



(図 1) 未来をつなぐ  
地域医療連携

ICT とは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称です。

当院整形外科では、ICT を用いて周囲の医療機関からの患者さまの関節に関するより専門的なご相談やご紹介を受けられるようにしております（図 1）。

総合病院で専門の医師に受診した方が良いのか、他に治療方法はないのか、手術の治療であればどんな方法があるのか、こういった相談を患者さま個人個人のご希望や状況に合わせて相談できます。例えば、「今の状態であれば、このまま痛み止めで様子をみた方が良いですか？ 手術を考えられた方が良いですか？」、「手術は絶対に嫌と言っておられます。他の治療方法はありませんか？」、「介護認定に向けて詳しく評価してもらえませんか？」、「内科の病気を持っておられます、それでも手術を受けるならどこで受けられますか？」、「手術を早く受けたいと言っておられます。いつ頃になりますか？」などの相談をこれまで受けました。

医師が日常的に病院内でパソコンやスマホを使って綿密に相談ができるシステムで、これらの活動については日本経済新聞にも掲載いただきました（図 2）。

新型コロナウィルス感染症感染拡大に伴って、こういった密を避けられるような取り組みは今後より求められる事と思っています。

関節痛でお困りの方は、是非とも当院の整形外科・関節センターを受診下さい。もしくは、かかりつけ医（普段診てもらっている診療所）からのご紹介を受けられるべきかご相談下さい。



(図 2) 日本経済新聞  
2019年11月28日号



千船病院 整形外科  
主任部長／関節センター長  
鄭 克真



近藤産婦人科

## ホームページ

<http://kondosanfujinka.sakura.ne.jp/>



## 診療所の特徴

平成30年10月で分娩の取り扱いを終了しました。現在は産婦人科と女性内科を中心に外来診療を行っております。妊娠検診、婦人科一般外来、子宮がん検診、卵巣検診、更年期外来、高脂血症外来、不妊外来など産婦人科全般に渡って診療を行い、この地域の皆様のお役に立つ治療を目指しております。

## 近藤院長から一言

分娩取り扱い中も現在多くの患者さんにご来院頂き感謝申し上げますと共に、今後も引き続き信頼して頂けるよう努力して参る所存でございます。今後は女医の診療日を増やして参りますのでよろしくお願い致します。

## 千船病院との連携について

いつも当院の患者さんを受け入れて頂きまして有難うございます。産婦人科に関しましては大阪府下でも質量ともにトップクラスのスタッフと充実した医療資源のある千船病院との連携は心強い限りです。今後ともよろしくお願い致します。

産婦人科・女性内科

## 医療法人 近藤産婦人科

〒555-0022  
大阪市西淀川区 柏里2-2-12

TEL: 06-6471-2103

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:30~12:30	●	●	●	●	●	●
16:00~18:30	●	●	●	-	●	-

スタッフ 看護師2名 看護助手1名

専門外来 更年期外来 ピル外来 月経困難症外来  
不妊外来 高脂血症外来

院内設備 血圧脈波検査装置 心電図  
パルスオキシメーター 超音波エコー

予防接種 インフルエンザ

処 方 院内処方 院外処方 ※ジェネリック医薬品の利用

施設機能 バリアフリー 車椅子対応 駐車場3台

そ の 他 健康診断（子宮がん検診、卵巣検診など）

## 医師の紹介・経歴



### ■略歴

1980年 関西医科大学 卒業  
産婦人科医局入局  
2002年 近藤産婦人科 開業

### ■学会資格

医学博士 母体保護法指定医  
日本産婦人科学会専門医  
関西医科大学非常勤講師

院長 近藤 良介

## 愛仁会グループの病院施設

### 高 橋 病 院

● 大阪府高槻市古曾部町1-3-13

TEL: 072-681-3801

### 愛仁会リハビリテーション病院

● 大阪府高槻市白梅町5-7

TEL: 072-683-1212

### 明 石 医 療 セ ン タ ー

● 兵庫県明石市大久保町八木743-33

TEL: 078-936-1101

### 尼 崎 だ い も つ 病 院

● 兵庫県尼崎市東大物町1-1-1

TEL: 06-6482-0001

### 井 上 病 院

● 大阪府吹田市江の木町16-17

TEL: 06-6385-8651

千船病院の  
ホームページは  
こちらから



千船病院(千船クリニック)は医療を通じて社会に貢献します

千船病院

検索

<http://www.chibune-hsp.jp>